



令和3年度  
県民世論調査

1. 県の基本政策について
2. 新型コロナウイルス感染症対策について
3. 自宅でのインターネットの利用状況について
4. 在宅療養体制の充実について
5. 住み慣れた地域で暮らし続けることができる県づくりについて
6. 食品ロス削減について
7. 多様な働き方の推進について
8. 地球温暖化対策について

高 知 県



# はじめに

高知県は、全国に先行した人口の自然減や、これに伴う経済規模の縮小、災害の多発といった数多くの課題に加え、新型コロナウイルス感染症という世界的な課題にも直面しています。

こうした困難な課題に県民の皆さまと共に立ち向かっていくため、感染症対策をはじめ、基本政策である産業振興計画の推進による「経済の活性化」、「日本一の健康長寿県づくり」、「教育の充実と子育て支援」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」、「インフラの充実と有効活用」の5つの取組を進めるとともに、それらに横断的に関わる政策として「中山間対策の充実・強化」、「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」、「文化芸術とスポーツの振興」に向けた取組を、コロナ禍後の社会構造の変化を見据え強化を図りながら進めてまいります。

こうした取組を進めるに当たり、県民の皆さまのニーズを的確に把握、分析し、政策づくりに生かすことが大変重要であることから、本調査を毎年実施しているところです。

本年度は、「県の基本政策」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「インターネットの利用状況」、「在宅療養体制の充実」、「住み慣れた地域で暮らし続けることができる県づくり」、「食品ロス削減」、「多様な働き方の推進」、「地球温暖化対策」の8つのテーマについて、調査を行いました。

これらの調査に集約された県民の皆さまの声を、今後の県政に十分反映させていきたいと考えています。また、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

この調査にご協力いただきました県民の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

令和3年12月

高知県総務部長 徳重 覚



# 目次

<b>第1章 調査の設計</b> .....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の事項.....	1
3. 調査の対象.....	1
4. 対象者の抽出方法.....	1
5. 調査の方法.....	1
6. 調査の期間.....	1
7. 実査および集計.....	1
8. 調査票配布数と回収状況.....	1
<b>第2章 調査結果の見方</b> .....	3
<b>第3章 調査対象者の特性</b> .....	5
1. 住まいの場所(広域市町村圏)別の配布・回収状況.....	5
2. 対象者の特性.....	5
<b>第4章 調査結果〔解説・グラフ〕</b> .....	13
1. 県の基本政策について.....	13
2. 新型コロナウイルス感染症対策について.....	43
3. 自宅でのインターネットの利用状況について.....	53
4. 在宅療養体制の充実について.....	66
5. 住み慣れた地域で暮らし続けることができる県づくりについて.....	77
6. 食品ロス削減について.....	93
7. 多様な働き方の推進について.....	106
8. 地球温暖化対策について.....	123
<b>第5章 調査結果〔数表〕</b> .....	137
<b>第6章 単純集計結果</b> .....	189



## <第1章 調査の設計>





## 第1章 調査の設計

### 1. 調査の目的

この調査は、県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の事項

- (1) 県の基本政策について
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (3) 自宅でのインターネットの利用状況について
- (4) 在宅療養体制の充実について
- (5) 住み慣れた地域で暮らし続けることができる県づくりについて
- (6) 食品ロス削減について
- (7) 多様な働き方の推進について
- (8) 地球温暖化対策について

### 3. 調査の対象

県内全域から18歳以上の県民3,000人を抽出（各市町村の「選挙人名簿」より）

### 4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

### 5. 調査の方法

郵送回答、インターネット回答の併用

### 6. 調査の期間

令和3年8月20日（金）～9月13日（月）までの25日間

### 7. 実査および集計

株式会社サーベイリサーチセンター四国事務所

### 8. 調査票配布数と回収状況

配布数：3,000票

有効回収数：1,795票（有効回収率59.8%）

（内インターネット回答者数：256票）



## <第2章 調査結果の見方>



## 第2章 調査結果の見方

1. 「第4章 調査結果 [解説・グラフ]」は「第5章 調査結果 [数表]」に基づき、要点のみを記述してあるので、「第5章 調査結果 [数表]」をあわせて参照すること。
2. 「第5章 調査結果 [数表]」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率 (%) 算出の基礎となっている。
3. 「第5章 調査結果 [数表]」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率 (\%)} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル (有効調査人数)}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

4. 質問への回答方法は「1つだけ○印 (どちらかに○印)」、「2つまで○印」、「3つまで○印」、「当てはまるものすべてに○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
5. 副問については、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
6. 各質問に対する集計は、対象者の特性別 (階層別) 及び回答者別 (質問間クロス) で分析した。
  - F1 性別 … 男性、女性、その他の3種類に分類
  - F2 年代別 … 10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の7階層に分類
  - F3 職業別 … 農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦・主夫、学生、無職、その他の12種類に分類
  - F4 属性別 … 世帯主、世帯主ではない (世帯員) の2種類に分類
  - F5 婚姻状況別 … 未婚、既婚、その他 (離別、死別を含む) の3種類に分類
  - F6 子どもの状況別 … 就学前の子どもがいる、小・中学生の子どもがいる、高校生の子どものいる、大学生・専門学校生等の子どもがいる、子どもは成人している又は独立している、子どもはいないの6種類に分類
  - F7 世帯年収別 … 0～100万円未満、100～200万円未満、200～300万円未満、300～400万円未満、400～600万円未満、600～800万円未満、800～1,000万円未満、1,000万円以上の8種類に分類
  - F8 住まいの状況別 … 持家、借家の2種類に分類
  - F9 住まいの場所別 … 高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類

※対象者の職業別、広域市町村圏別及び住まいの地域別判定は次のとおりである。

◆職業別

農 林 業	} (主婦・主夫の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を選択)
漁 業	
商工サービス業自営	(商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む)
事務職	(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く)
技術職	(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士、教員など、課長以上を除く)
労務職	(現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管理職	(勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自由業	(医師、弁護士、画家、僧侶など)
主婦・主夫	(家庭内の仕事が一日で最も多い場合)
学生	(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無職	(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
その他	(上のいずれにも属さないもの)

◆住まいの場所別 (広域市町村圏別)

高 知 市	
安芸広域圏	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村
南国・香美広域圏	南国市、香南市、香美市
嶺北広域圏	本山町、大豊町、土佐町、大川村
仁淀川広域圏	土佐市、いの町、日高村
高吾北広域圏	佐川町、越知町、仁淀川町
高幡広域圏	須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡多広域圏	宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町

## <第3章 調査対象者の特性>





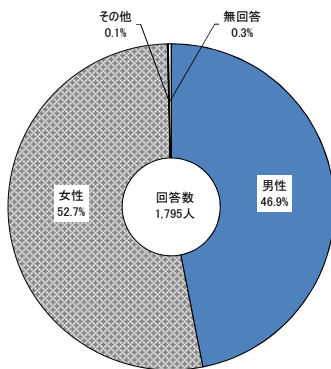
## 第3章 調査対象者の特性

### 1. 住まいの場所(広域市町村圏)別の配布・回収状況

住まいの場所 (広域市町村圏)	配布数(人)	有効回収状況		
		回答数(人)	回収率(%)	構成比(%)
高知市	1,373	811	59.1	45.2
安芸広域圏	204	104	51.0	5.8
南国・香美広域圏	441	267	60.5	14.9
嶺北広域圏	49	31	63.3	1.7
仁淀川広域圏	233	130	55.8	7.2
高吾北広域圏	101	54	53.5	3.0
高幡広域圏	230	141	61.3	7.9
幡多広域圏	369	244	66.1	13.6
(無回答)		13		0.7
計	3,000	1,795	59.8	100.0

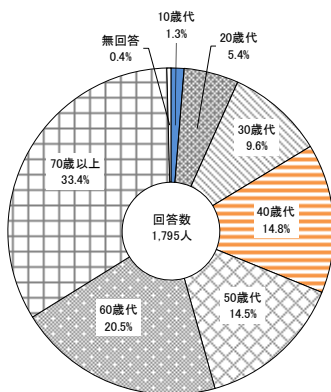
### 2. 対象者の特性

#### F1 性別



区分	回答数(人)	構成比(%)
男性	841	46.9
女性	946	52.7
その他	2	0.1
(無回答)	6	0.3
計	1,795	100.0

#### F2 年代別



区分	回答数(人)	構成比(%)
10歳代	24	1.3
20歳代	97	5.4
30歳代	173	9.6
40歳代	265	14.8
50歳代	260	14.5
60歳代	368	20.5
70歳以上	600	33.4
(無回答)	8	0.4
計	1,795	100.0

F 3 職業別

		回答数
全体	100.0	1,795 人
農林業	4.2	76 人
漁業	0.2	4 人
商工サービス業自営	5.6	100 人
事務職	10.4	187 人
技術職	12.8	230 人
労務職	11.8	212 人
管理職	3.8	68 人
自由業	1.8	32 人
主婦・主夫	11.0	198 人
学生	2.3	41 人
無職	24.6	441 人
その他	10.2	183 人
無回答	1.3	23 人

グラフ単位: (%)

区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
農林業	76	4.2
漁業	4	0.2
商工サービス業自営	100	5.6
事務職	187	10.4
技術職	230	12.8
労務職	212	11.8
管理職	68	3.8
自由業	32	1.8
主婦・主夫	198	11.0
学生	41	2.3
無職	441	24.6
その他	183	10.2
(無回答)	23	1.3
計	1,795	100.0

【Q3×Q2のクロス分析】

「職業」と「年代」について見ると、「農林業」、「漁業」、「商工サービス業自営」、「主婦・主夫」、「無職」では「70歳以上」が、「事務職」、「技術職」、「労務職」では「40歳代」が、「管理職」、「自由業」では「50歳代」が、「学生」では「20歳代」が最も高くなっている。

《Q3×Q2 のクロス分析》

		年齢								
		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)										
全体		1,795 100.0	24 1.3	97 5.4	173 9.6	265 14.8	260 14.5	368 20.5	600 33.4	8 0.4
職業	農林業	76	-	-	6.6	6.6	17.1	28.9	39.5	1.3
	漁業	4	-	-	-	-	-	25.0	75.0	-
	商工サービス業自営	100	-	-	7.0	10.0	14.0	26.0	43.0	-
	事務職	187	-	10.2	20.9	25.7	23.5	16.6	3.2	-
	技術職	230	0.4	12.2	23.9	31.3	15.7	13.5	3.0	-
	労務職	212	1.9	5.7	12.3	26.4	18.4	23.1	12.3	-
	管理職	68	-	-	-	23.5	45.6	22.1	8.8	-
	自由業	32	-	3.1	9.4	21.9	31.3	18.8	12.5	3.1
	主婦・主夫	198	-	1.0	5.6	7.1	14.6	30.3	41.4	-
	学生	41	39.0	53.7	-	2.4	-	2.4	2.4	-
	無職	441	0.2	1.1	0.9	2.0	2.0	16.6	76.6	0.5
	その他	183	0.5	4.4	12.6	13.1	16.9	27.9	24.6	-

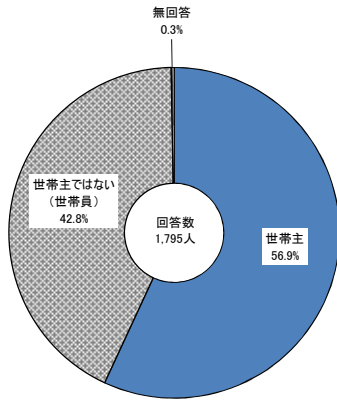
【Q3×Q7のクロス分析】

「職業」と「年収」について見ると、「農林業」、「商工サービス業自営」、「労務職」、「主婦・主夫」では「200～300万円未満」が、「漁業」では「300～400万円未満」が、「事務職」、「技術職」では「400～600万円未満」が、「管理職」では「600～800万円未満」が、「自由業」では「1,000万円以上」が、「学生」では「0～100万円未満」が、「無職」では「100～200万円未満」が最も高くなっている。

《Q3×Q7 のクロス分析》

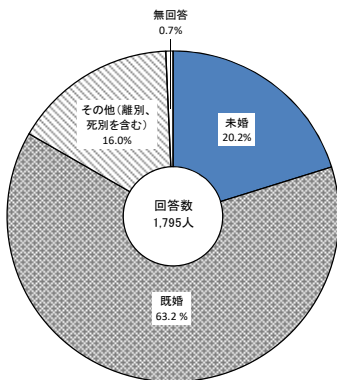
	世帯収入									
	全体	0 ～ 1 0 0 万円 未満	1 0 ～ 5 0 万円 未満	2 0 ～ 5 0 万円 未満	3 0 ～ 4 0 万円 未満	4 0 ～ 6 0 万円 未満	6 0 ～ 8 0 万円 未満	8 0 ～ 1 0 0 万円 未満	1 0 0 万円 以上	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)										
全体	1,795 100.0	160 8.9	324 18.1	355 19.8	277 15.4	297 16.5	164 9.1	82 4.6	83 4.6	53 3.0
職 業	農林業	76 7.9	9.2	28.9	15.8	14.5	6.6	7.9	7.9	1.3
	漁業	4 25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	100 16.0	15.0	20.0	12.0	18.0	7.0	5.0	4.0	3.0
	事務職	187 0.5	5.9	14.4	16.0	29.4	18.2	7.0	7.5	1.1
	技術職	230 -	5.7	13.9	19.6	23.9	20.4	9.6	7.0	-
	労務職	212 2.4	22.6	27.8	24.1	16.0	4.7	0.5	0.9	0.9
	管理職	68 -	-	-	14.7	17.6	27.9	17.6	17.6	4.4
	自由業	32 9.4	6.3	12.5	15.6	12.5	12.5	12.5	18.8	-
	主婦・主夫	198 7.6	17.2	24.2	14.6	19.2	7.1	3.0	2.5	4.5
	学生	41 19.5	4.9	17.1	9.8	14.6	12.2	-	14.6	7.3
	無職	441 19.0	34.7	21.8	12.0	5.7	1.1	0.5	0.7	4.5
その他	183 9.3	19.1	20.2	13.1	18.6	7.1	4.9	3.8	3.8	

F 4 世帯主・世帯員別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
世帯主	1,021	56.9
世帯主ではない (世帯員)	768	42.8
(無回答)	6	0.3
計	1,795	100.0

F 5 婚姻状況別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
未婚	362	20.2
既婚	1,134	63.2
その他 (離別、死別を含む)	287	16.0
(無回答)	12	0.7
計	1,795	100.0

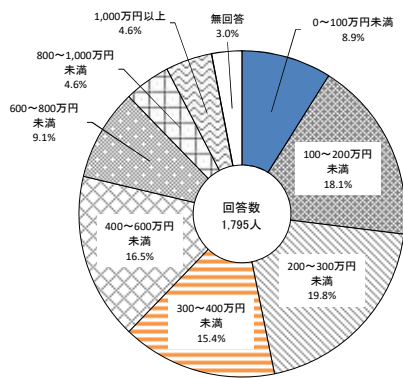
F 6 子どもの状況別（複数回答）

		回答数
全 体	100.0	1,795 人
就学前の子どもがいる	7.2	130 人
小・中学生の子どもがいる	9.4	169 人
高校生の子どもがいる	5.0	89 人
大学生、専門学校生等の子どもがいる	6.0	107 人
子どもは成人している又は独立している	54.3	974 人
子どもはいない	26.5	476 人
無回答	1.7	30 人

グラフ単位：(%)

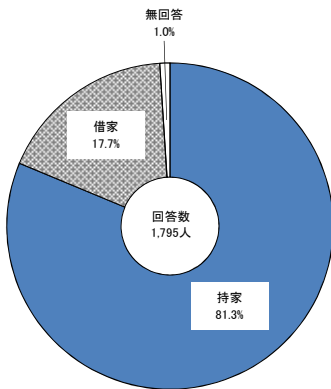
区 分	回答数（人）	構成比（%）
就学前の子どもがいる	130	7.2
小・中学生の子どもがいる	169	9.4
高校生の子どもがいる	89	5.0
大学生、専門学校生等の子どもがいる	107	6.0
子どもは成人している又は独立している	974	54.3
子どもはいない	476	26.5
（無回答）	30	1.7
計	1,795	100.0

F 7 世帯年収別



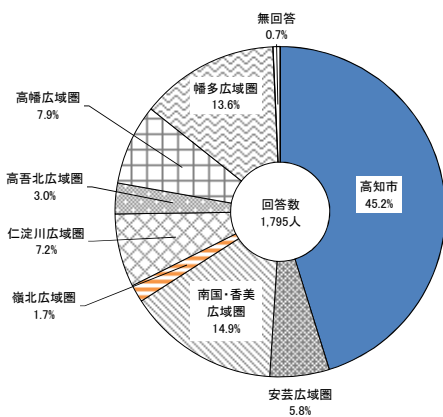
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
0~100万円未満	160	8.9
100~200万円未満	324	18.1
200~300万円未満	355	19.8
300~400万円未満	277	15.4
400~600万円未満	297	16.5
600~800万円未満	164	9.1
800~1,000万円未満	82	4.6
1,000万円以上	83	4.6
(無回答)	53	3.0
計	1,795	100.0

F 8 住まいの状況別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
持家	1,459	81.3
借家	318	17.7
(無回答)	18	1.0
計	1,795	100.0

F 9 住まいの場所別 (広域市町村圏別)



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
高知市	811	45.2
安芸広域圏	104	5.8
南国・香美広域圏	267	14.9
嶺北広域圏	31	1.7
仁淀川広域圏	130	7.2
高吾北広域圏	54	3.0
高幡広域圏	141	7.9
幡多広域圏	244	13.6
(無回答)	13	0.7
計	1,795	100.0

